

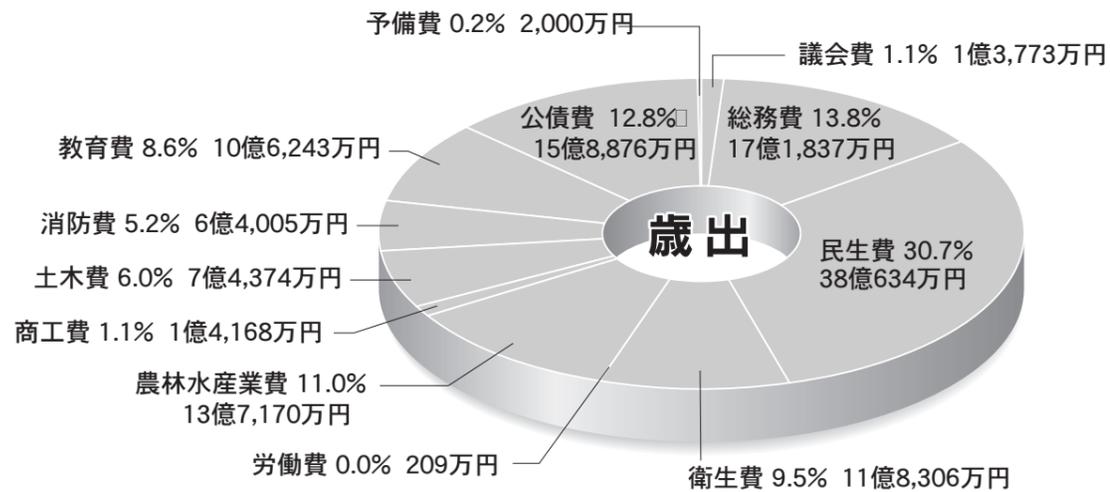
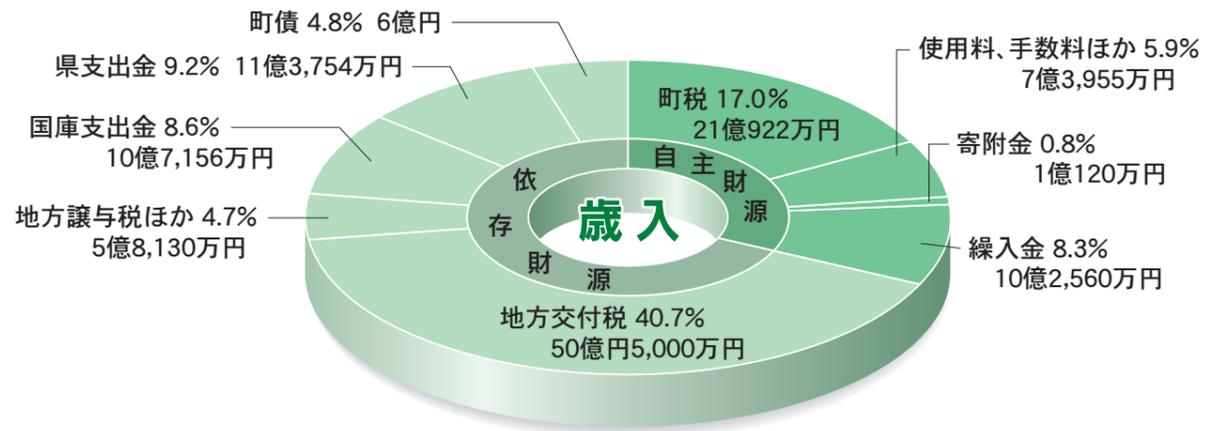
新年度一般会計予算 総額124億1,600万円

会計名	予算額	前年度比
一般会計	124億1,600万円	8.3%減
特別会計	国民健康保険	40億6,000万円 0.6%減
	後期高齢者医療	3億1,400万円 1.3%増
	農業集落排水	4億3,100万円 65.8%増
	特定環境保全公共下水道	5億5,000万円 65.2%増

水道事業会計	
収益的収入	5億8,224万円
収益的支出	5億9,548万円
資本的収入	2,321万円
資本的支出	1億3,843万円

収益的収支=水道料金による収入と水を家庭に送るために必要な経費の収支
資本的収支=古くなった水道施設の改良や新しい施設をつくるために必要な経費の収支

平成28年度一般会計予算の割合



3月定例議会

31議案を可決

3月定例議会は、4日から17日までの14日間で開き、町長から、条例改正案や補正予算、新年度当初予算など30議案が提出され、全議案を可決した。
新年度一般会計当初予算は、前年度対比8.3%減の124億1600万円が計上された。
一般質問は16人が行い、今後の町政について議論を交わした。

一般会計当初予算 前年比8.3%減

平成28年度一般会計当初予算は、前年度対比8.3%（11億2200万円）減の124億1600万円が計上された。このうち、町税などの自主財源は32.0%で、収入の約7割を地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ず、依然として厳しい財政事情となっている。

白石町過疎地域自立促進計画(案)が可決

現行の計画期間が平成27年度で終了する。引き続き町が目指すまちづくりのため、過疎地域の自立促進に必要な事業を計画的に進めていくものである。(計画年次 平成28年から平成32年度)



3月定例議会で提案理由の説明をされる田島町長

人事案件

◆教育長

1月29日の臨時会において、教育長に、北村喜久次氏(62) 〓白石町福田Ⅱを選任することに同意した。



北村 喜久次 氏

◆人権擁護委員

3月定例議会において、片渕直樹氏(51) 〓白石町遠江Ⅱ、古田正賢氏(54) 〓白石町田野上Ⅱが推薦され、同意した。

28年度 ピックアップ事業

ピックアップ



◆道の駅施設整備事業 (1億7,620万円)

道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を、町民が一丸となって取り組める施設として「(仮)道の駅しろいし」を整備する。

◆漁港整備事業 (住ノ江) (2,718万円)

安全性・機能性・快適性などの漁業環境改善と水産物流通の効率化のため、住ノ江漁港の早期着工へ向けた取組みを図る。

◆小中一貫教育研究事業 (24万円)

福富小学校と福富中学校を指定校とし、小中一貫教育の在り方について、実践を通して研究を行う。また成果を公表し、児童生徒の個性と創造性を育み、生きる力を培うとともに、教職員の資質向上を図ることを目的とする事業。

◆防災施設整備費 (1億9,830万円)

防災行政無線を補完する情報伝達手段を整備し、災害発生時などに町民に必要となる災害情報を町内全域に迅速かつ正確に伝達する。

◆国土利用計画費 (475万円)

国土利用計画審議会を設置し、行政上の指針となる総合的かつ長期的な計画を、環境の変化を踏まえ、まちづくりの根幹をなすものとしての計画策定を行う。

◆地域おこし協力隊推進事業 (410万円)

都会から過疎地域などに生活の拠点を移した者を、町が地域おこし協力隊員として委託し、一定期間地域協力を行いながら地域への定住・定着を図る。

賛成...○ 反対...● 欠席...-

賛否一覽

議案番号	議案	結果	川崎一平	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	片淵彰	草場祥則	片淵米二郎	久原久男	秀島和善	井崎好信	大串弘昭	内野さよ子	西山清則	岩永英毅	溝上良夫	久原房義	
5	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	町長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	振興基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	有明佐賀空港夜間貨物便基金条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●
15	国土利用計画審議会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	中小企業小口金融融資条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	行政不服審査法第81条第1項の機関に関する事務の委託に係る協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	過疎地域自立促進計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	人権擁護委員候補者の推薦	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	人権擁護委員候補者の推薦	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成27年度一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成27年度農業集落排水特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成27年度特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成27年度水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成28年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
30	平成28年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	平成28年度農業集落排水特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	平成28年度特定環境保全公共下水道特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	平成28年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	課設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



平成28年3月定例会には、
3月7日⇒2人 3月8日⇒7人
3月9日⇒4人 3月10日⇒24人の傍聴者がありました。
皆さん 議会のように見に来てくださーい!

問 有明海沿岸道路、福富ICまでの工事については計画どおり進んでいるか

答 平成30年度の開通を目標に整備が進められている

議員 有明海沿岸道路の佐賀福富道路は嘉瀬南ICから久保田ICまで平成23年3月6日開通になり、今年3月26日に芦刈南ICまで開通の予定である。福富ICまでの工事は予定どおり進んでいるか。

建設課長 平成30年度の開通を目標に整備が進められている。詳細な地質調査がされた結果、

進めていく。

議員 福富鹿島道路の路線の公表はいつ頃になるのか。

建設課長 この区間の環境影響評価の手続きが完了し、地形測量等が実施されているが路線の公表はまだされていない。

議員 路線の公表と工事に着手されるように、鹿島市と本町で国や県への働きかけは考えてないか。

問 しろいし農業塾生への今後の支援策は

答 半年間研修期間を延長して支援を継続する

議員 「しろいし農業塾」に受け入れている4名の塾生の地域住民との関わりや農業技術の習得状況は。また、今後の支援策は。

産業課課長補佐 農家へ出向き研修を行っている。半年間研修期間を延長し、平成29年3月まで

町長 私は鹿島市、太良町と本町で一緒に働きかけができればよいと思う。



◆3月に開通した芦刈南IC入口

問 今後の経営所得安定対策はいかに

答 生産者等が自ら決定する制度へ移行する

議員 平成30年産から国からの生産数量目標の配分がなくなるそうだが、その後の経営所得安定対策の交付金はどうか。

産業課課長補佐 国は生産数量の配分を見直し、生産者や団体が自ら決定する制度へ移行する。経営所得安定対策については継続されると考える。

問 町からの情報伝達を確実にを行う手段は

答 緊急放送端末機を整備していく

議員 情報伝達手段を整備し、災害時の情報伝達を確実にを行う検討がされているがその内容は。

総務課長 聞こえにくさを改善するため整備していく。希望者宅に緊急放送端末機を設置する。JAで新グリーンネットが整備されているところはその活用する。

議員 早急に整備されるようお願いしたい。



片瀨 栄二郎 議員



前田 弘次郎 議員

問 大雪警報による町の初動の対応は

答 災害対策連絡室を設置し対応した

議員 1月24日に、大雪警報の発令があったが、町として初動の対応は、

総務課長 1月24日(日)、

午前10時5分に大雪警報が発令されたことを受け、総務課職員課長以下4人が登庁し、10時30分に災害対策連絡室を設置し、ごみ収集や、いこ力運行、休校、休園などについて協議し、情報収集、HPによる休校のお知らせなどの情報

提供を行った。

議員 町内平野部の町道や農道の現状はどうだったのか。また、対応は。

建設課長 所管する町道への融雪剤散布を実施した。町内13箇所について、白石町建設業組合を通じ地元業者10社に散布委託を行った。

農村整備課長 寒波襲来の予報により、揚水、機場や排水機場等の土地改良施設の点検確認、

農道等への融雪剤の散布等の検討は行っていたが、農道については一般の道路とは違い、生活道路として位置付けではないため、降雪後の早朝より2次災害の発生に注意しつつ、パトロールにより状況の確認を行った。

議員 水道管の凍結など町民への周知はどのように行なったのか。

水道課長 毎年冬場に、多数の水道管凍結、破損による漏水が発生している。特に1月から2月に多いことから、12月に配布される広報誌1月号に「水道管の凍結や破損にご注意」と題し、

- ①水道管の凍結しやすいつころは。
- ②水道管の凍結を防ぐには。
- ③もし水道管が破損したら。

等の内容で掲載している。1月23日から1週間ケーブルテレビでも広報誌と同様の内容で

放送した。

議員 小中学校への対応は。

学校教育課長 教育委員会でも、24日13時に、教育長、学校教育課長、主任指導主事が役場に集まり、教育事務所、校長会と協議し、25日は町内すべての小中学校で休校することとし、同時に学校給食についても中止の指示を出した。また、26日の対応は、25日の状況を見ての判断となったが、始業時間を1時間遅らせることとした。

議員 保育園への送迎の際の保護者への注意喚起等の対応、園の駐車場の整備など、園児の受け入れ対応は。

保健福祉課長 保護者の方への注意はしていない。あくまで保護者で登園するか、しないかを判断してもらったと考えている。保育園側の保育士も雪により、町外からの通勤もあり、通常時

間への出勤が難しい面もあったと聞いているが、雪の中、保護者が連れてこられる園児の受け入れに問題はなかったと報告を受けている。駐車場の整備は、特にしていない。

議員 独居老人等の世帯の安否確認等は。

長寿社会課長 独居等の高齢者を見守っている。ただいている民生児童委員や介護支援専門員等からの要請等はなかったが、25日の配食サービスは、大雪のため、配食の中止を委託先のJAから利用者へ連絡

してもらった。みなさん事前に対応されており、特に困っている方はなかった。

26日は、道路にまだ雪が残っており、昼食の配達に難しいとの連絡を受けたため、長寿社会課の職員が公用車を利用して配達を行い、安否確認を行った。25日と26日の生きがいデイサービスについては、送迎が困難なため、当日の利用者へ中止の連絡をしても良かった。その際には、みなさんお元氣だったとのことだった。



◆庁舎屋上からの風景

問 新規就農者で白石農業の発展を

答 基幹産業の軸となつて活躍を願う

議員 町は著しく人口減少が進む中、基幹産業の農業を軸として発展策を講じているが、特に新規就農者への期待も大きいと思うが。

産業課課長補佐 例年、新規就農者は25〜30名程度で推移している。平成27年度では33名が就農されている。内訳としてUターン26名、新規学卒者1名、新規参入3名、法人就農3名となっている。また、親元就農は8名である。

議員 新規就農者になりえる要件と支援策は。

産業課課長補佐 独立して自営を目指す18歳から45歳未満の方や、65歳未満で知識技能を有する方で町から認定されると青年就農給付金、青年等就農資金の借入及び施設、機械導入への補助事業の活用等の支援が受けられる。

議員 一しういし農業塾が昨年10月に開講された。現在4名が実践的

問 農業法人化をしないと不利益があるのか

答 経営所得安定化対策等の補助金がない

議員 今日、JA各支所単位で法人化設立に向けての説明会が開かれている。町も一体となつて取組まれていると思うがその狙いと内容。

産業課課長補佐 国では平成30年度、水稲の直接支払制度の廃止、TPPによる輸入自由化などで今後の農政は大転換期を迎えようとしている。法人化への期限は決まていないが確実に

に技術の習得をしながら、自立を目指し作業を進められている。町では習得期間を1年と定め支援をしているが、この期間で自立できるのか。

産業課課長補佐 町では農業後継者不足の解消と定住人口の増加を図るために「一しういし農

業塾」を開設した。各々研修生は希望作物を小葱、萵、蓮根と定め、日々実地研修を続けられている。就農する際には機械、資材、収納舎等付随する問題がある。そこで今期研修期間を半年間延長することになっている。

実行できると町が認めた場合は、引き続き経営所得安定対策の対象とするが、早い時期に法人化を進めることには変わりはない。農業が持つ多面的な機能が損なわれないよう、効果的かつ安定的な農業ができることで法人化が推進されている。

問 6次産業の現状と課題は

答 商品開発は着実に進展しているが販路開拓が進んでいない

議員 6次産業化は町長が就任されたときから重要施策として今日まで積極的に推進されてきた。商品開発や販路開拓等の現状と課題、その支援策は。

6次産業推進専門監 これまで11事業所、16種類23品が開発された。他にも町の補助金を活用しないで3事業所、8種類11品が開発されている。その内、4事業所で製造から販売まで行われている。加工施設の整備に多額の費用を要するなど不安要素が推測される。今後「仮」6次産業推進協議会を設置し、情報交換や共同での商談会への参加など、新しい展開を目指す。



大串 弘昭 議員



◆開発された6次産品



吉岡 英允 議員

問 白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、優先する施策は

答 地域づくり協議会設置を優先する

議員 第2次総合計画の個別計画として策定された、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略で大きく4つの基本目標を軸として実行していくに際して、町長が思う優先する具体的な施策についての考えは。

議員 具体的な施策の効果の検証がもっとも重要であると考えているがその方法は、**企画財政課長** 創生総合戦略を達成するには、PDCAサイクルを確立する必要がある。

具体的には、行政のみならず、住民・推進会議委員・議会で効果の検証を行う。

町長 基本目標4（くらに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しごいしー）中地域づくり協議会設置を優先したい。

問 町長の町政に対する考え方を

答 町民が、白石町に住んで良かったと実感できるように町を作りたい

議員 町長に就任されて3年が過ぎたが、どの位の政策実現が出来たのか

町長 町民との融和に努めて来たが、3年があつたという間に過ぎたと思う。

そういう中で実現出来なかつた施策については、駐在員を通じて十分な説明をしてきた積りである。公約に掲げた6本の柱については私なりに努力して来た

自己判断している。

議員 任期までの残り1年で、人と大地がうるおい輝く豊穡の町の実現のためにどういうまちづくりを考えているか。

町長 町民が明るく元気で暮らせるまちづくりに邁進していかなければならぬと思つている。本町も、まち・ひと・しごと総合戦略に沿つた施策が一つでも二つでも実現出来るように



久原 久男 議員

問 希望するクラブ活動ができる環境づくりができないか

答 運動部の複数校合同チームは、慎重に検討していく

議員 生徒が、年々減少していく中で、町内の中学校における現在のクラブ活動の状況と今後の見通しは。

教育長 生徒の減少と同時に配置される教員の数も減少しているのでも、部活動を指導する教員数も不足がちである。そこで学校以外の指導者を見つめるなど今後は新しい組織作りができないものか総合的に知恵を出し合う必要があると考える。

議員 町内の3中学校の特色を活かし、1種目は必ず1つの中学校で活動できるようにし、町内の3つの中学校のいずれかで希望するクラブ活動ができる環境づくりができないか。

学校教育課長 何処の

問 しろいしみのりちゃんをモチーフに、集い場を設けては

答 新たな観光スポットとして、観光資源となるかと思われる

議員 観光振興の為、新たな観光スポットとして商店街に「しろいしみのりちゃん」をモチーフに、「恋愛」叶う所として「みのりちゃん神社（仮称）」を設置し、集い場を設けてみては。

議員 観光振興の為、新たな観光スポットとして商店街に「しろいしみのりちゃん」をモチーフに、「恋愛」叶う所として「みのりちゃん神社（仮称）」を設置し、集い場を設けてみては。

6次産業推進専門監 憲法20条の規定により、「神社」と称した物の設置はできないが、みのりちゃんをモチーフとした憩いの場を作ることは新たな観光スポットとして観光資源になるかと思われる

問 産業用ドローンを活用した農業経営での取り組みは

答 すぐには、ヘリからドローンに変わらないが、今後の活用は期待できる

議員 今春から産業用ドローン（液剤散布用）が発売されるとのことである。将来的にドローンを活用した農業経営の省力化に向けた取り組みについての考えは。

産業課課長補佐 すぐに無人ヘリからドローンに変わることはない



◆ドローン

問 道路ストック総点検事業の成果は

答 調査結果に基づき、順次整備していく

議員 平成26年に実施された道路ストック総点検事業はどのような目的で実施されたのか。

建設課長 白石町の町道は、4300キロ程度あり、中には耐用年数が過ぎて老朽化の激しい箇所が多くある。26年に、約2000キロを対象に路面性状調査を行い緊急性の高い路線から順次舗装を実施する事で安心安全で快適な道路通行を確保している。

議員 総点検した中で、危険箇所は無かつた

のか。又、整備の優先順位の考え方は。

建設課長 早急に整備が必要な区間が、21路線、補修が必要である区間が42路線あつた。緊急性、生活関連性が高い区間を優先して事業に着手している。

議員 町道廻里津大和線の今後の計画は。

建設課長 廻里津から770mは整備が完了した。28年度に730m、29年度に国道444号までを整備したい。

に努力する。人口が減少する中、町民が安心安全に暮らせるまち白石町があるのか

総務課長 白石町、武雄市、嬉野市、鹿島市、大町町、江北町の3市3町が杆藤電算センターで、共同での電算処理に参加している。主な業務としては、住民票や戸籍謄本の発行などの住民情報に関するシステムを基本として、町民税や固定資産税、保育料や水道料金等の税や料金の納付、収納に関するシステム、児童福祉や介護保険など住民に直接関連する26業務と多岐にわたりに共同利用している。

また、コンビニで町税等が納付出来る対応や、

※クラウドとは…cloud→雲データをパソコンや携帯電話ではなく、インターネット上に保存する使い方、サービスのこと。



◆町道 廻里津大和線



草場 祥則 議員

問 町民目線で行政サービスの提供を

答 職員の意識改革に取り組んでいく

議員 「町民目線での行政サービスの提供を」この町長の思いが職員に浸透していないのではないかと。

町長 「役場は何のためにあるのか」「町民の皆さんが役場に求めていることは何なのか」ということである。そこを考えるとやはり、「町民の皆さんと目線を同じくし、町民の皆さんの負担に応え、町民の皆さんが生活しやすくなるための仕事をやっていく」と

民満足度向上について」直接話し合う場を設けたり、全ての職員を対象に「町民満足度向上を目指す接遇マナー研修」を開催するなど職員の意識改革に取り組んでいきたい。

議員 また、職員の専門知識等を養うための環境づくりが必要と考えるが。

町長 今後ますます高度化、複雑化していく行政ニーズに対応していくために「プロフェッショナルな職員」を育成していくことが必要と考える。町民の皆さんから信頼される職員を育成するという目標で計画的に人材の育成に取り組んでいく。

議員 白石町定員適正化計画においては職員数の削減が掲げられているが。

副町長 平成23年度に策定した本計画では、平成31年度末までに職員数を255人の数値目標を掲げている。組織機

構改革とも照らし合わせながら、適正な職員数を平成28年度に検討したい。



※コミュニティスクールとは…地域社会の人、ものなどの資源を教育活動の中に取り入れながら学校の教育資源を地域に開放するしくみ。

問 町長の任期最後の1年その締めくくりは

答 皆さんの約束を果たすため精いっぱい努力する

議員 任期最後の1年だがその締めくくりは。

町長 想像以上に急激に進む人口減少に対して、地域がその向き合っていくのが大きな課題だと受け止めている。それに対する施策の

問 町の子どもたちへ期待することは 答 社会を生きていく力「生きる力」育んでほしい

議員 町長が本町の子どもたちに期待することは。

町長 学力向上はもとより、大人になったときに、どんなに社会が変化しようとする社会で生きていく力「生きる力」を育んでほしいと思う。本町が実施している※コミュニティスクールはその生きる力育むうえで重要な施策である

と考える。子どもたちが大人になったときに郷土に愛着をもちつづけ郷土の発展に貢献しようとする心身ともに健康であってほしい。

ひとつが定住促進を推進する環境整備が必要と考える。そのために白石町の区域における国土利用計画の策定が最重要と認識しており、平成28年度当初予算にも計画策定のための予算を計上したところである。

問 個別勧奨によるガン予防を強化することへの取組みは

答 勧奨を進め集団検診の受診を推進する

議員 国民の2人に1人が罹患しているガンを予防する上で重要な検診の受診率向上に向け、厚生労働省は2015年に対象者に受診を呼び掛ける個別受信勧奨・再勧奨を強化する「ガン対策加速プラン」を策定、個別受診は5大ガン対象となった。また、意向調査は具体的に市町村が行うようになっ

健康づくり専門監 今までに対象者の調査はしていない。町民の全員を対象に、特に会社などで行う職域検診の受診の有無の調査など平成28年度に行い、平成29年度から活かしていきたい。

議員 胃ガン予防のピロリ菌除菌の保険適用における検査費用の助成をお願いしたい。平成26年9月と平成27年9月の定例会一般質問

で検査費用助成の必要性を要望した。佐賀県においては県内の中学3年生全員を対象に胃ガンの主な原因とされるピロリ菌の検査が実施されることになった。本町においても検査費用の助成をお願いしたい。

健康づくり専門監 ガン予防対策として集団検診を充実し、胃ガンにおいては今後、内視鏡「胃カメラ」の活用で発見、予防を行いたい。

議員 ガンの発見、予防は特に若い世代、30歳代40歳代の方々を対象にピロリ菌検査を実施してほしい。集団検診で血液検査のオプション

としてピロリ菌の有無の項目を追加してほしい。追加する費用はいくらかかるのか。また、年間集団検診の受診者数のうち30歳代40歳代の方々は何名いるのか。

住民課長 30歳代125名、40歳代145名の計270名である。

健康づくり専門監 血液検査の追加費用は、1人当たり1080円である。

議員 予防の第一歩として菌の有無を確認することが大事だ。血液検査の追加費用の助成をお願いしたい。

問 公共施設の危険箇所の点検は

答 点検は、専門業者や職員で行っている

議員 公園などのトイレの故障や危険な設備等が見つけられたが、点検の実施状況は。

生涯学習課長 危険箇所の点検、特に公園の遊具などは専門の業者に

問 学校でのガン教育の実態と小学生から行う必要性は

答 小学生から行うことが大切今後検討していきたい

議員 現在おこなわれているガン教育の実態は。

主任指導主事 年間指導計画で小学6年生に「生活のしかたと病気」、中学3年生に「健康な生活と病気の予防」の中でガン教育をおこなっている。

議員 命の大切さ。ガン予防の姿勢を小学生に教える必要があるのでは。

主任指導主事 多方面の協力を得て実施していきたい。



◆UICC世界対がんデー 2016公開シンポジウム

溝口 誠 議員



大串 武次 議員

問 六角川堤防危険箇所が決壊対策を

答 整備するよう強く要請してほしい

議員 六角川の堤防は、この状況は把握しているのか。

建設課長 JR六角鉄橋下の堤防は、定期的に横断測量がなされ、経過を監視し、状況に変化があり、対策が必要な場合は、適切な処置が講じられることになっている。

議員 集中豪雨が来ると鉄橋下の所が、一番早く決壊すると思われるが。

議員 JR六角鉄橋下の堤体部分が削り取

は、決壊の危険性が一番高い箇所とは判断がなされていないが、地域住民の不安を取り除くため、重点的に調査及び対策を行っていくよう要望していく。

議員 危険箇所と思われる所は、是非、対策を講じて欲しいと思うが。

建設課長 六角川重要水防箇所について、洪水を安全に流せる堤防の高さに整備していくよう、強く要請していく。

議員 堤防下の町道今泉東線は、堤防との関係で、県・国へ舗装をす

建設課長 新設の舗装整備はできないが、早い時期に、切削材等を利用した整備を行う。

※切削材とは…舗装を削った後に発生するアスファルト屑を再資源化したもの

問 こだわりのある道の駅・建設に向けての進捗状況は

答 出荷者とともに対応する仕組みづくりを検討している

議員 オール白石産で、こだわりのある道の駅の構想は、どう進められているのか。

6次産業推進専門監 白石町産にこだわった品揃えで、町内産のブランド価値を高めると同時に、白石町の魅力を感じていただき、都市と農村の交流拠点になることを目指し、今後、具体的に出荷に係る要領を定め、出荷者協議会の

議員 町内で、現在栽培がされている品目だけではないのか、新たな品目の取組はあるのか。

また、年間を通して野菜などの出品物の量を確保できる仕組みづくりは、どう進められているのか。

6次産業推進専門監 町内で栽培されている農作物は、年間を通して安定的に出品することとは、厳しいものがあり、

問 小中一貫教育や統廃合の考え

答 総合的に勘案しながら、今後議論

議員 少子化に伴い、小中一貫教育や統廃合についての考えは、また、実施にむけた考えはあるのか

教育長 少子化も重要な課題であり、将来の学校編成は、課題を見据えて、組織的・系統的研究を進め、国・県の動向に注視しながら本町の教育がどうあるべきか、総合的に勘案しながら遅れることなく、今後、議論していく。

問 佐賀空港へのオスプレイの配備は

反対

答 農業・漁業・生活に影響ないよう努力していく

議員 オスプレイと自衛隊の佐賀空港への配備は、地元との公害防止協定・自衛隊との共用はしない」を踏みにじるもので許されない。安保法制の具体化の一環で、他国への軍事介入の拠点となってしまふ。

議員 佐賀空港を、アジア諸国との交流の空港として充実することが未来ある選択ではないか。町

長の考えは。

町長 平成2年3月30日公害防止協定の締結は承知している。現段階では、「いい」とも「悪い」とも判断する立場にない。

しかし、当事者間で配備を合意された折は、本町の農業・漁業・町民生活に影響しないように最大限努力していく。

問 TPPは白石の農業を壊滅するのでは

答 適正な対策がとられるよう強く要望する

議員 白石町の基幹産業である農業を困難に陥れるTPPについて、どのように理解されているか。国会での批准は中止し、協定からの脱退を求めるべきだ。

町長 昨年11月18日に全国町村長会議にて、TPPに対しては慎重

審議をするよう特別決議をあげた。本町の米・麦・大豆・アスパラ・イチゴに、適正な対策がとられるよう強く要望していく。今後、政府に対しては、根拠を示し、具体的な数字を示して説明責任を果たすように求めている。

問 住宅リフォーム助成制度の復活を

答 国や県の動向を見ながら考えたい

議員 住宅リフォーム助成制度の復活は、地域で事業を行っている建設、電気、設備など多様な職種に仕事をもたらした。長引く不況の中、町の経済の活性化と地域の住環境改善に大きな力を発揮する。制度の復活を県に働きかけ、独自でも制度の復活をすすめる考えはないか。

建設課長 この事業は、平成23年から3年間に渡り、佐賀県の30億円の基金を元に実施された事業である。費用対効果として、9.03倍の効果が現れた。

現在は、事業の再開は考えていないが、国や県の動向を見ながら考えていきたい。

問 原発から再生可能な自然エネルギーへ転換を

答 電気供給のための原発再稼働は止むを得ない

議員 安倍政権は原発再稼働に舵をきっている。しかし、使用済み核燃料の管理、放射性廃棄物の最終処分場など「タイレのないマンショ」と言われる状況は、解決のめどすら立っていない。

福島事故の原因も不明で、その事故の処理も困難をきわめ、いまでも10万人近い方々が故郷に戻れない。この

町長 近い将来的には原発から自然エネルギーへ大きく転換しなくてはならないと考えている。しかし、現時点では、今すぐ全原発中止は現実的ではない。日本の産業の発展のためにも一定の電気供給のための原発の再稼働は止むを得ない。



◆有明貯水池の水上太陽光発電設備



秀島 和善 議員



川崎 一平 議員

問 農業の法人化についてのメリット デメリットは

答 税制面やコスト削減がある

議員 法人化に対しての、メリットとデメリットはどのようなものがあるのか。

産業課課長補佐 メリットとして、高齢化や後継者不足に伴う耕作放棄地の解消につながる。

他にも、集落営農組織が法人化することで農地の利用権、所有権の設定ができる。

従って信頼できる農地の受け皿ができ、また

経営所得安定対策も受けることができる。

更に税制面でのメリットとして消費税の還付等がある。他にも、高額な機械にかかるコストの削減や労力の削減なども考えられる。

デメリットについては、経理上複式簿記での記帳義務があるため、事務員を雇用する経費や決算について税理士に委託する委託料などがある。

また法人税の納付義務等がある。

議員 社会保険適用者になった場合、5年ごとの認定農業者の更新ができないと聞いているがどうなのか。

産業課課長補佐 法人から給料を受ける役員など一部の人は、社会保険が適用されるが構成員全員が社会保険適用というわけではない。認定農業者は、年間従事日数250日以上など様々な要件がクリアできていれば、社会保険適用者であっても認定農業者の認定は受けることができる。

議員 法人以外の就農体制はどのようなものがあるのか。また、メリット、デメリットもあるのか。

産業課課長補佐 法人以外では、個人担い手や個人での法人化などがある。法人ではなく、認定農業者でもない経営体は、所得安定対策への加入ができない。

問 町道、農道の整備状況は

答 優先順位をつけ、計画的に行っている

議員 町道、農道の整備が遅れているようだが、現在行われている工事箇所数と順番待ち状態の箇所数は。

建設課長 町道は、新設が2箇所、歩道整備が2箇所、舗装の打換えが5箇所、橋りょうの整備が5箇所、交通安全施設整備2箇所、離合所設置1箇所等、現在合わせて30箇所ほどある。

要望箇所においては、約50%が整備済みである。

農村整備課長 農道については、現在舗装率が94%残り6%を優先的にしているが、財政面などの事情もあり、緊急性、安全性を考慮し今年度は、9路線の工事を行っている。

拡幅や切り下げも要望があれば、離合場所や圃場乗降口等の緊急措置を検討していく。



◆町道福田線補修工事の様子

議員 町民は町に対してどのような要望の方法があるのか。

建設課長 内容や規模により様々なケースがあるが、地元区長をはじめ地元役員を加え、関係路線の地権者の連書による要望書の提出が望ましいが、事前に建設課に相談をお願いしたい。

農村整備課長 農道についても同様であるが、分からないことがあれば

ば農村整備課に相談に来ていただきたい。

町長 道路の規格など数字的なものもあるが、現場によって臨機応変に対応していく。

できれば、地域の代表者を通じて窓口に来ていただきたい。

問 杵島山系の豊かな自然を活かした観光の推進を

答 歴史・文化を学びながら観光資源に結びつけたい

議員 観光については、本場に町のことを思い、積極的に取組む職員

の育成が不可欠であると考えられる。町民の皆さんと一緒に考えて考え、これからの町の観光の推進に努めていただきたい。

副町長 観光推進協議会を立ち上げ、白石町観光推進基本計画を策定し、この計画を基本として政策を考え進めていく。今後も他の自治体に

負けないように職員の資質向上を図り、充実していきたい。

議員 うたがき研修センターやロッジについては、もっと利用者を増やす取組みが必要と考える。例えば宿泊ができるようになれば、そこから望める日の出などの景観は素晴らしいものであると思うが、また町の歴史・文化を学ぶ施設としての活用も考えられるが。

6次産業推進専門監

杵島山には多くの史跡、文化財が点在している。杵島山から見れる風景はこの町にも負けないと思っている。歴史・文化を学びながら散策できるコースとか、青少年の体験学習の場を設けて観光資源として活用したい。

議員 白石町ガイドブック「さるく」や「さるく」レクシジョン」の活用ができていないと思う。町の歴史、文化、産品など、より早くPRすべきと思うが。

6次産業推進専門監

観光パンフレットの活用については見直しを行う。観光ビジョンが、未策定で計画的な取り組みが遅れており、町民との協働を構築しながらPRを推進していく。

問 駅伝のまち「白石」の復活を

答 前向きに検討したい

議員 歌垣の郷ロードレース大会10キロは公認コースであり、有名な選手を招待して記録を出す大会にしたなら、もっと参加者が増えると考えられる。

生涯学習課長 歌垣の郷ロードレース大会は、小学生から大人まで楽しめるよう数多くの種目を実施しているところが特徴である。今後の参加者数の動向をみて考えたい。

議員 地元の高校のレベルアップのためにも県内の強豪校の選手や近隣の強豪校の選手、さらには社会人のトップクラスの選手を招待することは考えられないか。競技をしている本町の子どもたちには、よい刺激になるのでは。

生涯学習課長 現時点では、招待は考えていないが、今後の取組みとして前向きに検討したい。



西山 清則 議員



◆第21回歌垣の郷ロードレース大会



溝上 良夫 議員

問 教育環境の充実に

学校、保護者、地域が一体となつての教育環境づくりが必要

議員 学校と地域の関わりについて、またコミュニティスクールについて現在までの状況と今後の計画について方向をお願いする。また、教育委員会と学校運営協議会、そして地域との関係はどうなっているのか。

学校教育課長 子どもたちの豊かな成長を支えていくためにも学校と保護者、そして地域の方々が目標と意思を共

議員 教育の面で時代の影響もあり、仕方ないこともあるかと思うが、時代のせいにしてはならないこともあると思う。時代が変わっても根本が変わらないことが大切だと思う。今の時代、生徒の教育も大事だが真剣に生徒と向き合う時間がとれていないように思う。だからこそコミュニティスクール等を充実していくべきと思う。

議員 教育の面で時代の影響もあり、仕方ないこともあるかと思うが、時代のせいにしてはならないこともあると思う。時代が変わっても根本が変わらないことが大切だと思う。今の時代、生徒の教育も大事だが真剣に生徒と向き合う時間がとれていないように思う。だからこそコミュニティスクール等を充実していくべきと思う。

教育長 教育については、時代の進展とともに変えていかなければならないことも確かにあるが、絶対に変えてはいけないものが沢山ある。生徒の成長も時代とともに大きく変化している。だからこそ将来を見据えて我々がいなくなっても自信を持ってしっかりと生きていけるようにしなければいけない。

議員 学ばせたい保護者、学びたい子供が学べる環境を整えるのは大事なことだと思う。特に近年、貧困率の問題や親の経済力の違いによる子どもへの学力格差が問題になっている中で、本町の考えは、また、放課後塾などの要望があるのか。

町長 今回の要望はないようですが、勉強したいという希望があれば、答えていかなければならない。貧困の問題なども、主体とした場合、学びたいと思っている子に学ばせてやれないということかなければならないと思う。

議員 よりよい情報をいち早く収集し活用しなければいけない時代である。町の行政情報等の収集方法など、どのように処理されているのか。

問 町の行政情報の収集の方法は担当課により行い町長はじめ関連各課に伝達

議員 総務課が秘書の業務をしており、現在のところ支障がないため、町長直属の部署、並びに秘書課等の設置は考えていない。



問 暗きよ排水事業の継続は是非必要

答 県へ要望活動し予算確保に努める

議員 平成18年度から平成27年度までの10年間において全体で3811ha、事業費約43億5千万円を要して実施してきたが、田面排水の良し悪しが生産を大きく左右する。今後も是非継続してほしいという要望が強いが今後の取り組みを問う。

議員 この事業は白石農業を守るためには是非必要であり、予算の確保に努めるべきでは。町長 国、県への要望活動を続け予算確保に努めていきたい。



◆施工中の暗きよ排水

問 空き家バンク事業により町の活性化を

答 新年度より地域おこし協力隊を増員し取組んでいく

議員 空き家の増加と定住人口の減少は大きな課題である。町内の空き家は平成24年の調査で221戸あると聞く。農村回帰を狙った空き家バンク事業で空き家の減少と定住人口の増加により町の活性化を図る考えはないか。

町長 空き家バンク事業で移住により地域に人が来ることで、地域が元気になるようにと思つ。県とも連携しながら対策を検討していきたい。また、新年度には地域おこし協力隊を増員し、一緒に考え取組んでいきたい。

問 女性組織は地域社会にとって重要な

答 女性の声は重要、ニーズにあった活動を考えていきたい

議員 地域社会において女性組織の存在は非常に大きなものである。しかし婦人会の会員数は減少が著しく平成17年度2509名であったが現在379名まで減少した。地方創生、女性の活躍社会の実現がいわゆる時代であるが今後の女性組織の育成

問 「道の駅」開業前に商品開発を急ぐべきでは

答 出荷者協議会を設置し積極的に取り組んでいく

議員 県内外の道の駅を見たときに、現在、町内で生産されている産物等の品目では出品される商品ににぎわいが感じられない気がする。新たな商品の開発を急ぐべきでは。

6次産業推進専門監

今後、出荷者協議会を設置し、研修会、講演会の開催。また、県の6次化サポートセンター等のアドバイスを受けながら積極的に取り組んでいきたい。



久原 房義 議員

議員 空き家の増加と定住人口の減少は大きな課題である。町内の空き家は平成24年の調査で221戸あると聞く。農村回帰を狙った空き家バンク事業で空き家の減少と定住人口の増加により町の活性化を図る考えはないか。

町長 空き家バンク事業で移住により地域に人が来ることで、地域が元気になるようにと思つ。県とも連携しながら対策を検討していきたい。また、新年度には地域おこし協力隊を増員し、一緒に考え取組んでいきたい。



片淵 彰 議員

問 連携医療ネットワークシステムの整備の考えは

答 光ケーブル接続は可能に

議員 町の生活基盤整備について、合併時に白石町内の市外局番を統一することの協議はなかったのか。また、要望があれば局番変更は可能なのか。
総務課長 合併時に市外局番の変更について協議し、現状のままです。
議員 町で有明地域の人たちから要望があれば総務省や関係機関との協議

ることにより投薬、検査の重複などを防ぎ、診療の効率化や医療費削減にもつながると期待されているとのことだった。また、去る2月5日に町医師会、歯科医師会、行政、議会との意見交換会があり福富地域への光ケーブルの整備の要望があつたが、現在の整備の状況は。
保健福祉課長 町内において平成20年度に病院から要望があり、NTTに整備についての確認をとつたところ、その考えは無いとのことであった。しかし、平成26年度に有明、白石地域でNTTから光ケーブルになったことで営業を開始された模様だ。平成22年度に、町は、ケーブルテレビの整備が行われ、幹線部分は全て光ケーブルで施工された。末端についても、技術的には、光ケーブルに接続可能である。ただし、そのためには、別途工事費

がかかる見込みである。
議員 医療システム構築により医療費の削減につながると思うが、町だけでなく県全体の取組みはできないか。
町長 町においても毎年医療費が増加している。疾病予防も大切。

問 有害鳥獣による被害が深刻

答 対策強化に力を入れる

議員 町内では、有害鳥獣による被害が深刻化している。農作物被害は農家の営農意欲をなくし、日常生活にも影響を及ぼしている。白石地区有害鳥獣等駆除対策協議会の捕獲実績は。
産業課課長補佐 昨年の実績は、イノシシ192頭、アナグマ・タヌキ18頭、カラス・カモ74羽である。被害は日々拡大し、生活への影響もでている。
議員 今後の対策は。
産業課課長補佐 有害鳥獣駆除に対する国の

また、色々な検査、複数の病院への受診をしなればいけない場合がある。そのような時に1つのデータを共有することも大事と思われる。今後、医療費削減のために、いろいろ検討したい。

補助金は年々削減され、厳しい状況であるが、昨年同様、電気柵や捕獲器の貸出し、被害防止対策用資材購入経費の一部補助も実施する。
町長 竹林や果樹園等の放棄地がでないようをお願いしていきたい。また、有害鳥獣の工サがないような環境づくりも必要であると考ええる。



問 当初予算編成の主眼点は

答 総合戦略4つの基本目標の達成を目指すもの

議員 まち・ひと・しごと総合戦略の達成に向けた当初予算の編成ではどこに主眼を置いて編成されたか。
町長 総合戦略は4つの基本目標、38の施策を掲げている。実行にあたっては道の駅整備事業、婚活サポート事業等は継続して計上している。事業執行については機構改革を考へており、新体制で推進していく。
議員 ある程度は評価するが、新規の施策が盛り込まれていないのでは。
副町長 国の交付金の内容がはつきりしない中では難しく6月補正予算での計上を目指してできるものから進める。
議員 達成度の検証はどのような方法で行うのか。
企画財政課長 重要業

績評価指標を採用して毎年度、創生推進会議や議会において検証をお願いしていく。
議員 策定中の白石町観光振興計画において観光ルートアクションプログラムが示されているが滞在型がより効果的であり、白石町ならではの田舎暮らし文化を体感できる民泊についてどのような考えか。
6次産業推進専門監 滞在型が有効であると考えますが宿泊場所の確保が課題である。小規模な民泊サービスを考えているが、許認可の基準もあり、先進地の事例を研究し農家などを発掘していく。

問 育英資金の償還免除制度の創設を

答 償還することが原則である

議員 育英資金は能力がありながら経済的な理由により修学が困難な学生に貸し付ける資金であるが、利用状況はどうなっているか。
学校教育課長 合併後、平成22年度ごろまでは利用者も多かったが、ここ数年は減少傾向にあり総数で123名である。
議員 将来的に若者の定住人口を増やすために各学校を卒業して町内に定住した方には育英資金の償還免除を行う制度の創設の考えは。
議員 将来的に若者の定住人口を増やすために各学校を卒業して町内に定住した方には育英資金の償還免除を行う制度の創設の考えは。

学校に行けることへ感謝することも大切である。
議員 白石町の明日を担う子どもたちが故郷の良さを知る教育も必要では。
教育長 もの・カネは二の次で人から育まれた愛情が郷土愛につながる。根っこをしっかりとすることが望ましく家庭、地域、学校が連携した教育が必要である。

問 地下水自噴の対策は

答 有効利用することが可能では

議員 特に干拓地において地下水が自噴しており作物に影響が出ている。対策として、水質浄化や玉ねぎの防除用水として活用するため深井戸の稼働はできないか。
農村整備課長 塩害対策や防火用水の実績があり、有効利用の観点から可能ではないか。
議員 嘉瀬川ダムからの配水は順調であり、今後の深井戸の取り扱いについての考えは。また過去3年間の稼働状況と解体された件数は。
農村整備課長 撤去が基本であるが利用価値を含めて地元の判断による。過去3年間で、稼働は77か所、休止は42か所、解体が23か所である。



井崎 好信 議員

※重要業績評価指標とは…ここでいうのは行政で取り組む各事業の目標達成度合いを測る指標となるもの。





内野さよ子 議員

問 白石町総合戦略の進め方は

答 閉塞感ムードを打開し、今までにない視点で進めていく

議員 白石町創生総合戦略と人口ビジョンが昨年11月策定された。基本目標1によると「本気！やる気！元気！しろいし！」には、雇用環境問題などがあげてあるがどのようにして進めていくのか。

副町長 これまでの閉塞感ムードを打開し、今までにない視点を取り入れていく。人口減少の一因として雇用の確保、農業を基盤に商工業の

活性化を含めて各種事業所の誘致などをしていく。

議員 地方自治体への権限や財源が移譲される中で、多様化する町民のニーズをどのようにして把握し、政策に活かしていくのか。

総務常任委員会

先進地視察研修（ワンストップ窓口サービス、空き家バンク事業の取り組み等）

2月16日から18日まで福岡県朝倉市、大分県竹田市豊後大野市を視察した。

朝倉市では、出生や結婚、転居や死亡後の手続きなど、必要となる戸籍の取得や住民票の異動届けの手続きなどを、ひとつの窓口で集約することで、これまでの煩雑な手続きを、ひとつの窓口で、全て完了できるものであった。住民の方の要望に、スピードに対応する窓口サービスが実行されていて、本町においても実施できないか、今後の検討が必要と思う。

また、全国初の農村回帰宣言市である竹田市では、都会からの移住を促す取組みをされており、空き家や耕作放棄地が増加しつつある現状を逆手にとり、移住者を積極的に受入れ、少子高齢化に歯止めをかけ、コミュニティの再生に取り組みされていた。本町においても、空き家を利活用した、移住者の受け入れを進められていくが、大いに期待したい。

最終日の豊後大野市では、全国的に進められている議会改革について視察を行った。本町においても、議会改革を行っていく上で、大いに参考となり、今後活かしていきたい。



●ワンストップ窓口の様子

文教厚生常任委員会

放課後児童クラブ支援員との意見交換を行い、現場の声を聞く。

厚生労働省は、子ども子育て支援新制度における放課後児童クラブの運営指針を策定し、平成27年4月から適用開始している。

このため、白石町においても昨年、条例が制定され、これまでのガイドラインの見直しが行われたため、町の運営指針のあり方や現場の支援員の声を聞くため、意見交換を行った。

大きな改正点については、児童の受け入れは、小学3年生から6年生までに拡大され、また集団の規模は、「概ね40人以下」となった。開所時間についても、今までは午後6時までだったが、午後7時まで延長をされたことは、

町民のニーズを把握していく。議員 町民からの相談には、行政の知恵を惜しまなく伝え協力して欲しい。二、資金がなければ、場の提供や、CSO等による補助金申請方法などの情報提供をし、人とのつながりを大事にしてほしいと考えるが、総務課長 しっかりとやってみよう。

その後、平成32年からは、放課後児童支援員となるための資格（保育士、社会福祉士、学校教育法による教諭等）が必要となる。

今後も、環境整備については課題もあるが、本町にある放課後児童クラブの充実にお任せ見守って行きたい。

町長 町が一方向的に設置するのではなく、小学校区単位で地域の課題、高齢者問題等を地域で考え、また「コミュニティスクール」の推進にも有効ではないかと考える。

議員 国は、女性が輝く時代と、謳っているが、地域づくりにも活かされるような仕組みづくりの知恵はないか。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標は。

- ①本気！やる気！元気！しろいし！
②来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！
③出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！
④くらしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！

議員 子どもの政治への関心は、町づくりにつながると言われているが今後18歳選挙に向けてどのように進めていくのか。総務課長 今年6月19日より、施行される。町報、ケーブルテレビで啓発を行い、また投票所立

問 新教育長の教育方針を

答 一隅を照らすような子ども達を目指したい

議員 教育現場では課題も多いが、教育行政へ取り組まれる考えはどうか。教育長 一、方針として「人と大地がうるおい輝く豊穡の町」づくりの基本理念に「一歩でも近づくように総べるみで行っていく。」

二、「コミュニティ」の再構築、文化や歴史を共有する共同体を元気にしていく。実態の把握については、例えば「あいさつ」を学校ではできていることが、家庭ではどうかなどの把握をしていきたい。社会教育においては、「一隅を照らす」ような子どもを目指していきたいと考えている。

産業建設常任委員会

観光スポット「大興善寺(基山町)」と、佐賀県6次産業化施設を視察。

2月17日に、基山町にある大興善寺と佐賀県の農産加工研修館を視察し、研修を行った。

一、町の観光資源である歌垣山と類似している、つつじと紅葉の観光名所として知られる大興善寺を視察し、住職から、ここに至るまでの沿革、苦労話などの講和を受けた。その中でも、中途半端ではできない、何事も熱意と継続が成功の秘訣だと強調されたのが印象的だった。

二、本町では産業の基軸である農業を持続、発展させるため、一次農産物に留まらず、加工販売までに取り組みる6次産業化に力を入れている。佐賀県も同様に、「佐賀6次産業化サポートセンター」を設置し支援を行っている。商品開発から販路開拓に至るまでの支援体制や支援内容を、事細かく説明を受けた。

今後、本町が事業を推進していく上で、大変参考となり、事業の推進、拡充に向けて積極的に取り組まれることを期待したい。



●大興善寺の住職から貴重な話をいただきました



●商品開発の取組みを研修しました

最近の主な議員活動 1月～3月



月	日	曜	活動内容
1	4	月	白石町成人式
	5	火	新年あいさつ回り
	7	木	議会だより編集委員会
	8	金	立志式
	9	土	白石町消防出初式
	12	火	議員への説明会・議員例会
	15	金	白石町功労者表彰式
	20	水	干拓入植祭
	22	金	議会運営委員会 議長局長合同会議
	28	木	愛媛県伊予郡松前町議会行政視察
	29	金	臨時議会 文教厚生常任委員会所管事務調査
	30	土	白石町社会福祉大会
	31	日	嬉野市施行10周年記念式典 北方領土返還要求佐賀県民集会
2	2	火	平成27年度同和問題地区別研修講座 医療関係者との意見交換会・懇親会
	6	土	叙勲祝賀会
	7	日	白石町人権フェスティバル
	8	月	後期高齢者医療議会議案勉強会
	9	火	白石町商工会合併10周年会員交流会 議員への説明会・議員例会
	10	水	文教厚生常任委員会所管事務調査 鹿島市議会議会報告会
	11	木	杵島郡青少年育成剣道大会
	12	金	広域圏組合議員事前勉強会 国民健康保険運営協議会
	15	月	後期高齢者連合議会 出前講座(横手下老人クラブ)
	16	火	総務常任委員会視察研修 ~18日 出前講座(戸ヶ里老人クラブ)
	17	水	産業建設常任委員会所管事務調査
	18	木	西佐賀水道企業団全員協議会
	19	金	県町村議会議長会定期総会

月	日	曜	活動内容
2	22	月	杵東地区衛生処理場組合議会
	23	火	西部広域圏組合議会定例会
	24	水	佐賀県市町総合事務組合2月議会 杵藤地区議長会(4町協議会)研修会
	26	金	議会運営委員会 西佐賀水道企業団2月定例会
	29	月	農業振興大会
3	4	金	3月定例会開会
	5	土	有田町施行10周年記念式典
	7	月	3月定例会 (一般質問 4人)
	8	火	〃 (一般質問 4人)
	9	水	〃 (一般質問 4人)
	10	木	〃 (一般質問 4人、議案審議)
	11	金	中学校卒業式
	13	日	武雄市市制施行10周年記念式典 嘉瀬川ダム感謝祭
	14	月	3月定例会 (総務部門議案審議)
	15	火	〃 (文教厚生部門議案審議)
	16	水	〃 (産業建設部門議案審議)
	17	木	3月定例会閉会 (議案審議) 議会だより編集委員会
	18	金	小学校卒業式
	20	日	歌垣の郷ロードレース大会
	24	木	文化振興財団評議員会 白石土地改良区通常総代会 あかり保育園卒園式
	25	金	白石町人・農地プラン検討会 杵藤地区町村議会議長会事務局長会議
	26	土	東京都庁フェア・東京福富会 佐賀福富道路(有明海沿岸道路)開通式
	28	月	社会福祉協議会理事会 社会福祉協議会評議員会 広域圏組合2月定例会(閉会)
	29	火	白石町有明海沿岸道路建設促進協議会
	31	木	議会だより編集委員会

みなさんの集まりに 私たち(議員)がおじゃまします

議会出前講座

2月15日(月)

横手下老人クラブ(白石地域)35名ほどの会員さんがお集まりでした。

- ・婚活や少子化対策、ジェネリック医薬品、TPPによる町への影響などの、話題がでました。



左から 大串弘昭議員、岩永英毅議員、西山清則議員、溝口 誠議員

最後は雑談も含め、有意義な意見交換ができました。

2月16日(火)

戸ヶ里老人クラブ(有明地域)40名ほどの会員さんがお集まりでした。

- ・空き家対策や国民年金への加入状況、小学校の統廃合、ごみの出し方が変わることなどの話ができました。



左から 片淵栄二郎議員、内野さよ子議員、前田弘次郎議員、秀島和善議員

活発な意見交換ができました。

議会ポスト ご意見紹介



〇16人の一般質問が出されたことは、大変嬉しく思いました。TPP導入で、これからの白石農業が守れるのか。もっと勉強してほしいと思います (60歳代 女性)

〇大事に育てた婦人会。町として、もう少し力強い回答がほしかった。(60歳代 女性)

ご意見ありがとうございました。